

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2013年9月9日(月) 14:35~15:15
実施場所	上作延小学校 ビオトープ
実施対象	環境委員会11名 (5,6年生)
実施内容	ビオトープの生きものの解説 アシ、ガマの移植

**1 事前準備**

- ・午前中、ビオトープに移植するアシ、ガマを鶴見川より採取し、学校に運搬。
- ・生徒がビオトープに集合するまでの間、ビオトープ内の生きものの採取を行った。
- ・ビオトープの生きものの観察準備、アシ、ガマの移植準備

**2 実施内容**

- (1) ビオトープ内の生きものの観察、ビオトープ改善のアドバイス。
- (2) アシ、ガマの移植。アシは5年生、ガマは6年生がプランターに移植。
- (3) プランターに移植したアシとガマをビオトープ内に設置。
- (4) 質疑応答、まとめ。

採取した生きものは授業終了後、池へと戻した。

**見つけた生物**

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

●ビオトープ

- ・メダカ ・モツゴ ・ギンブナ ・ユスリカsp

**問題点・気付いた事・その他**

- ・ビオトープ内には生きものが全体的に少なかった。ビオトープが完成した際に放流したと思われるメダカ、モツゴのほかには、密放流されたとと思われるギンブナ、ユスリカspの幼虫が確認できただけだった。
- ・ビオトープの底はデトリタスの層はなく、粘土質の泥の層だった。そのためか生きものは魚類以外はほとんど見られない。
- ・移植中、「オオシオカラトンボ」のメスが飛来。ビオトープで産卵をしていった。



ビオトープの生きもの解説



アシ、ガマをプランターに移植



プランターを池のビオープに設置



ギンブナ